

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	DD403/エスノグラフィー論 (Ethnography)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	質的データ分析		
担当者名 (Instructor)	鈴木 久美子(SUZUKI KUMIKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CCS3210	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

質的調査(エスノグラフィー的方法)とはどのようなものであるかを多面的に知り、その方法論を理解する。そのために実際に調査のプロセスの一端を経験し、自らのテーマに対する質的調査実践のスキルと探究心を身につけることを目標とする。

Students will understand qualitative surveys (ethnographical methods) and their methodologies from multiple perspectives. To do that, students will experience part of these actual survey processes. Students will acquire practical skill and curiosity to conduct qualitative analyses on their subjects.

授業の内容(Course Contents)

エスノグラフィーの展開とアプローチを紹介したうえで、質的データの収集や分析方法について具体的に講義する。また、演習的な授業展開のなかで、グループワーク、インタビュー演習等を実践する。

Professor will introduce ethnography development and approach before explaining specific methods to collect and analyze qualitative data. Furthermore, in this seminar class students will also practice group works and interview seminars.

授業計画(Course Schedule)

1. 社会調査のすすめ
2. アイスブレイク:エスノグラファーの第一歩
3. エスノグラフィーとはなにか①:最初のイメージをつくろう
4. エスノグラフィーとはなにか②:データ収集の方法
5. エスノグラフィー実践に向けて①:エスノグラフィー的散歩
6. エスノグラフィー実践に向けて②:調査の流れ
7. インタビューの技法:エスノグラフィー的散歩から調査レポート作成に向けて
8. インタビュー演習に向けて①:インタビューの技法
9. インタビュー演習に向けて②:自己覚知ワーク
10. インタビュー演習①:インタビューをやってみよう
11. インタビュー演習②:インタビューの記録
12. インタビューとその記録①:インタビュー演習のふりかえり
13. インタビューとその記録②:インタビュー映像とエスノグラフィー
14. エスノグラファーとしてのありかたとは

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外の学習に関する指示は、必要に応じて別途指示する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

調査レポート(40%)/演習課題①(20%)/演習課題②(10%)/演習課題③(20%)/授業時のお題に対する小レポート(10%)

テキスト(Textbooks)

必要な資料は配信する。

参考文献(Readings)

1. 小田博志、2010、『エスノグラフィー入門 <現場>を質的研究する』、春秋社 (ISBN:9784393499115)
 2. 藤田結子・北村文、2013、『現代エスノグラフィー 新しいフィールドワークの理論と実践』、新曜社 (ISBN:9784788513280)
 3. 波平恵美子・小田博志、2010、『質的研究の方法 いのちの<現場>を読みとく』、春秋社 (ISBN:9784393332924)
- その他、テーマごとに随時紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

全授業回のうち4回はオンライン実施(実施回については立教時間で指示する)。対面授業ではパワーポイントを使用した講義

形式及びグループワークやインタビュー演習、映像資料の視聴等、対面授業が効果的な内容を実施する。オンライン回は演習課題の説明及び実施に向けて、受講者が課題作成に十分集中できる環境を提供するための内容となる。いずれの場合も、資料の配布、課題の提出は「立教時間」を使用する。課題に対するフィードバックは、提出後の授業内の講評を中心とするが、希望者には個別のフィードバックを行う用意があるので、遠慮なく申し出てほしい。

注意事項 (Notice)